

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-104047

(P2001-104047A)

(43)公開日 平成13年4月17日(2001.4.17)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード(参考)
A 4 5 D 40/22		A 4 5 D 40/22	3 E 0 8 4
33/00	6 1 0	33/00	6 1 0 A
B 6 5 D 43/16		B 6 5 D 43/16	A

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平11-283354

(22)出願日 平成11年10月4日(1999.10.4)

(71)出願人 000160223

吉田工業株式会社

東京都墨田区立花5丁目29番10号

(72)発明者 袖原 幸知

東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内

(74)代理人 100071283

弁理士 一色 健輔 (外3名)

Fターム(参考) 3E084 AA02 AA12 AA24 AB09 BA01

CA01 CC03 DA01 DB09 DB13

DC03 FA07 FC08 GA06 GB06

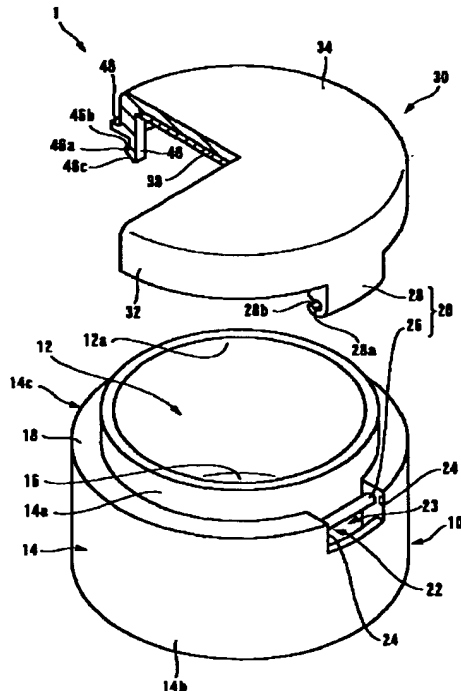
GR15 GB17 LA18

(54)【発明の名称】 化粧料容器

(57)【要約】

【課題】 容器自体の生産性が良好であり、製造時の化粧料充填作業性も良く、分別収集に適した化粧料容器を提供する。

【解決手段】 収容部12を有する合成樹脂製の広口容器本体10と、該広口容器本体10に螺番20によって開閉自在に枢着される合成樹脂製の蓋体30とで構成され、上記広口容器本体10に一体成形されて螺番ピン26が設けられ、該螺番ピン26に上記蓋体30に一体成形された螺番片28が着脱自在に係合されて螺番20が形成されている。上記広口容器本体10には、上記螺番ピン26の上方及び下方に開放される連通空間23が形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 収容部を有する合成樹脂製の広口容器本体と、該広口容器本体に螺番によって開閉自在に枢着される合成樹脂製の蓋体とで構成され、

上記広口容器本体に一体成形されて螺番ピンが設けられ、該螺番ピンに上記蓋体に一体成形された螺番片が着脱自在に係合されて螺番が形成されていることを特徴とする化粧料容器。

【請求項2】 上記広口容器本体には、上記螺番ピンの上方及び下方に開放される連通空間が形成されていることを特徴とする請求項1に記載の化粧料容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、クリーム等の化粧料を収容する広口容器であって、広口容器の開口を覆う蓋体が螺番を介して広口容器に開閉自在に設けられた化粧料容器に関する。

【0002】

【従来の技術】この種の化粧料容器は、一般的に高価なイメージを有する化粧料を収容する容器であるために、外観の高級感と意匠性が重要視され、収容容器としてガラスの広口容器が用いられていた。そのため、ガラスの成形性や加工性から広口容器に直接蓋体を枢着する螺番を設けることは難しく、化粧料を収容するという本来の目的からは必要のない中間部材を別途設けて、ガラスの広口容器に蓋体を枢着する螺番を形成していた。

【0003】即ち、化粧料容器は、化粧料の収容部を有するガラスの広口容器と、この広口容器の上端開口を覆うとともに螺番で開閉可能に枢着される合成樹脂製の蓋体と、この蓋体とともに螺番を形成し上記広口容器と蓋体との間に介在される中間部材とで構成されている。

【0004】上記中間部材は、広口容器の外径寸法と同じ外径を有する環状の合成樹脂部材でなり、上記蓋体がピン結合により一体的に枢着されて、上記広口容器の上部に螺着されている。

【0005】即ち、この化粧料容器は、化粧料の収容部を開閉自在に回転する蓋体が一体的に枢着された中間部材が、広口容器に螺着されて形成されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、かかる従来の化粧料容器にあっては、広口容器とその開口を覆う蓋体以外に本来必要のない中間部材が介在されているので、容器のコストが嵩むとともに、その組立にも手間がかかり、化粧料容器自身が高価になってしまった。また、低価格の化粧料も市場に出回りつつあり、消費者の低価格品指向を助長して、化粧料容器に高級感を求める傾向が薄らいできたため、従来の化粧料容器では製造コストがかかりすぎるという問題がある。

【0007】また、充填する化粧料は品質管理上、外気との接触を避けるために、化粧料容器に充填した直後に

蓋を閉じることが望ましい。ところが、従来の化粧料容器にあっては、蓋体が広口容器に螺着されている中間部材にピン結合され一体的に取り付けられているため、蓋体のみを容易に取り外すことができない。このため、中間部材ごとに取り外した広口容器に流れ作業の中で化粧料を充填し、直後に中間部材を螺着しているが、螺着作業に手間がかかり過ぎて製品がスムーズに流れない。

【0008】一方、化粧料容器の蓋体を開放して化粧料を充填する場合には、蓋体が充填作業の邪魔になるとともに、蓋体を開くと重量バランスが悪く化粧料容器を安定させて置くことができない。即ち、化粧料が充填されていない空の化粧料容器に化粧料を充填し易いように蓋体を十分に開くと化粧料容器が傾き、安定して開口を上向きの状態に保ち化粧料を充填することができない。このため、化粧料を流れ作業によって充填することは困難であり、量産しにくいという課題があった。

【0009】さらに、広口容器はガラス製であり、蓋体と中間部材とは合成樹脂製であるため、これらを廃棄するときには、これら材質の異なる部材を分別して収集しなければならなかった。

【0010】そこで、本発明はかかる従来の課題に鑑みて、容器自体の生産性が良好であり、製造時の化粧料充填作業性も良く、分別収集に適した化粧料容器を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するために本発明の請求項1に示す化粧料容器では、収容部を有する合成樹脂製の広口容器本体と、該広口容器本体に螺番によって開閉自在に枢着される合成樹脂製の蓋体とで構成され、上記広口容器本体に一体成形されて螺番ピンが設けられ、該螺番ピンに上記蓋体に一体成形された螺番片が着脱自在に係合されて螺番が形成されていることを特徴とする。

【0012】即ち、広口容器本体を合成樹脂製としたので、広口容器本体を樹脂成形により大量に生産することができる。また、広口容器本体に蓋体を枢着するための螺番ピンを一体成形で形成できるので、従来のような中間部材を必要とせず、部品点数を減らすとともに、作業工数を減らすことができる。これらにより、広口容器本体の製造コストを大幅に削減することができる。

【0013】また、蓋体を螺番ピンに着脱自在に形成したので、蓋体を広口容器本体から取り外し、容易に取り付けることができる。従って、流れ作業の工程において蓋体を取り外した状態で広口容器本体に化粧料を充填することができるため、蓋体を取り付けられている場合よりも開口を上方向に向けつつ安定した状態に広口容器本体を維持させることができ、化粧料を効率よく充填することができる。そのうえ、蓋体の装着も簡単なので化粧料を充填した直後に即座に蓋体を取り付けて広口容器本体を閉止できるため、化粧料の品質をも確保することが

できる。

【0014】さらに、この化粧料容器を構成する蓋体と広口容器本体とのいずれもが合成樹脂で形成され、異なる材質の部材が含まれていないので、分別収集することなく廃棄することができる。

【0015】また、請求項2に示す化粧料容器では、上記広口容器本体には、上記蝶番ピンの上方及び下方に開放される連通空間が形成されていることを特徴とする。即ち、広口容器本体に設けられた蝶番ピンの上方及び下方は、連通空間によって開放されているので、広口容器本体単体の状態では蝶番ピンの上方及び下方には何も存在しない。

【0016】そして、広口容器本体の成形は、収容部が上方に開口を有する都合上必然的に上下方向の割り型を用いることになるが、蝶番ピンの上方及び下方には何も存在しないので、上記の上下方向の割り型のみによって蝶番ピンを有する広口容器本体を一挙に成形することができる。従って、この上下方向の割り型の他にスライド型等を用いる必要がなく型構造も簡単であるので、成形の工数をも削減して安価に成形することができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を添付図面を参照して詳細に説明する。図1～図8は本発明の化粧料容器の実施形態を示し、図1は本発明の化粧料容器の一実施形態の構成部品を示す分解斜視図、図2は図1の広口容器本体を示す斜視図、図3は図1の化粧料容器を前後方向に破断した状態を示す断面図、図4は図1の化粧料容器を左右方向に破断した状態を示す断面図、図5は図1の化粧料容器の蓋体係止機構を示す断面図であり(a)は係止機構を解除した状態を示す断面図(b)は蓋体を開いた状態の係止機構の断面図、図6は図1の化粧料容器の蓋体を開放した状態を示す断面図、図7は本発明の化粧料容器の変形例を示し化粧料容器の前後方向に破断した状態を示す断面図、図8は図7の化粧料容器を左右方向に破断した状態を示す断面図である。

【0018】図示するように、本実施形態の化粧料容器1は、クリーム状の化粧料の収容部12を有する合成樹脂製の広口容器本体10と、この広口容器本体10の上端開口12aを覆うとともに蝶番20によって開閉可能に枢着される合成樹脂製の蓋体30とで構成されている。

【0019】上記広口容器本体10は、円筒状をなす胴部14を備え、この胴部14は円筒状の内壁部14aと外壁部14bとが同心円状に間隔を隔てて配置されている。上記外壁部14bの上端部にはその内側方向に水平面をなす上面部18が形成されて内壁部14aの側面と接合され、内壁部14aは上記上面部18より上方に延出されている。さらに、内壁部14aにはその底を塞ぐ底部16が設けられて、内壁部14aの内方に化粧料の収容部12が形成されている。また、外壁部14bの下

端部は、上記底部16より下方に突出され、化粧料容器1を安定させて置くことができるように脚部をなしている。

【0020】即ち、この広口容器本体10は、上部に上面部18とその上方に突設された内壁部14aとでほぼ全周に亘って環状の段部14cが設けられ、内壁部14aの上端を開口12aとして内壁部14aと底部16とで相当の深さを有する器状の収容部12が形成されている。

10 【0021】さらに、この広口容器本体10の上記段部14cには、その直径をなす方向の両端に位置させて、上記蓋体30の係止機構40を形成する孔部42と、蓋体30を開閉自在に枢着する蝶番20を形成するための凹部22とがそれぞれ設けられている。

【0022】上記孔部42は外壁部14bと内壁部14aとの間に設けられた上下方向の開口でなり、また、外壁部14bの上端近傍には、孔部42に連通する小孔44が設けられている。この小孔44は上下方向に互いに相対向する水平面を有する矩形状に形成されている。

20 【0023】上記凹部22は、上面部18と外壁部14bとが相当の幅で下方に切り欠かれて形成され、外壁部14bと内壁部14aとの間の空間と連通している。また、外壁部14bと内壁部14aとの間には凹部22に沿って一対の縦壁部24が設けられ、この縦壁部24に蝶番ピン26が一体的に架設されている。従って、広口容器本体10単体では蝶番ピン26の上方及び下方に広口容器本体10の外方に向かって開放された連通空間23が形成されている。

30 【0024】上記蓋体30は、上記外壁部14bと同径をなす周壁部32と、その上端を覆い内側面に収容部12の開口をシールするシール部材38が設けられた天部34とで構成されている。この蓋体30には、上記広口容器本体10の孔部42に対応する位置に、その閉止状態で当該孔部42に上方から入り込むように垂下されたフック部46と、このフック部46を操作するために外側に配置された操作突起48とが設けられ、このフック部46と上記小孔44とで係止機構40を形成している。また、蓋体30には、凹部22に対応する位置に下方に突出されて凹部22に入り込み蝶番ピン26と係脱自在に係合する蝶番片28が設けられ、この蝶番片28と上記蝶番ピン26とで蝶番20を形成している。

50 【0025】上記フック部46は、蓋体30の周壁部32の内側に突設されるとともに、周壁部32下端より下方に垂下されて設けられている。そして、フック部46の下部には外方に突出した水平面46bを有するとともに、その下端部が内方に向かって降下する傾斜面46cをなすフック片46aが形成されている。そして、蓋体30を閉じるときには、広口容器本体10の孔部42を形成する段部14cに、上記傾斜面46cが接触しフック部46が後方に提まされて、フック部46が孔部42

に挿入される。そして、フック部46の弾性復帰によりフック片46aの水平面46bが、広口容器本体10の外壁部14bに設けられた小孔44の水平面に係合して蓋体30が閉止状態に維持される。

【0026】一方、上記蝶番片28には、蝶番ピン26が入り込む貫通孔28aが設けられ、この貫通孔28aの蓋体30内方側にはこの貫通孔28aに沿ってスリット28bが設けられている。このスリット28bは貫通孔28aから蓋体30内方に向かってその幅が広くなるように開放され、貫通孔28aに蝶番ピン26が入り易くかつ適度に外れ難く保持されるように形成されている。

【0027】これにより蝶番片28を広口容器本体10の凹部22に入り込ませるとともに、そのスリット28bを蝶番ピン26に押入することで、貫通孔28aに蝶番ピン26がはめ込まれて蝶番20が形成され、蓋体30は広口容器本体10に開閉自在に取り付けられる。

【0028】そして、この化粧料容器1は、蓋体30を閉止した状態で、広口容器本体10の外壁部14bと蓋体30の周壁部32とが上下に重なってほぼ円柱形状をなし、この蓋体30を根着する蝶番20と、蓋体30の係止機構40とが、収容部12を挟むようにその外周部に設けられている。

【0029】また、この化粧料容器1の蓋体30を開放する場合には、図5に示すように、蓋体30に設けられた操作突起48を化粧料容器1の内方に向かって押圧することによって、蓋体30の周壁部32が内方に撓むとともに、この周壁部32と一体となったフック部46が内方に向かって移動する。このとき、フック部46の下部に設けられたフック片46aが広口容器本体10の小孔44から抜け出て係合が外れ、操作突起48を上方に持ち上げることによって蓋体30が開放される。

【0030】以上の構成により本実施形態の化粧料容器1では、広口容器本体10を合成樹脂製としたので、広口容器本体10を樹脂成形により大量に生産することができる。また、その広口容器本体10に蓋体30を根着するための蝶番ピン26を一体で成形することができるので、従来のような中間部材を必要とせず、部品点数を減らすとともに、作業工数を減らすことができる。これらにより、広口容器本体10の製造コストを大幅に削減することができる。

【0031】特に、広口容器本体10単体では蝶番ピン26の上方及び下方が連通空間23によって開放されている。従って、広口容器本体10を成形する際に、収容部12が上方に開口12aを有する都合上必然的に上下方向の割り型を用いても、蝶番ピン26の上方及び下方は開放されて何も存在しないので、上記の上下方向の割り型のみによって蝶番ピン26を有する広口容器本体10を容易に成形することができる。よって、この上下方向の割り型の他にスライド型等を用いる必要がなく、型

構造も簡単であるので、成形における作業工数をも削減して安価に成形することができる。

【0032】また、蝶番20を形成する蓋体30の蝶番片28に蝶番ピン26と係合する貫通孔28aに沿ってスリット28bを設けたので、蓋体30と広口容器本体10とを容易に装着することができる。よって、流れ作業の工程において蓋体30を取り外した状態で広口容器本体10に化粧料を充填することができるため、蓋体30が取り付けられている場合よりも開口12aを上方に向けつつ安定した状態に広口容器本体10を維持させることができ、化粧料を効率よく充填することができる。そのうえ、蓋体30の装着も簡単なので、その直後に即座に蓋体30を取り付けて広口容器本体10を閉止できるため、化粧料の品質をも確保することができる。

【0033】さらに、この化粧料容器1を構成する蓋体30と広口容器本体10とのいずれもが合成樹脂で形成され、異なる材質の部材が含まれていないので、分別収集することなく廃棄することができる。

【0034】本実施形態において、広口容器本体10の胴部14を内壁部14aと外壁部14bとの間に空間がある形態を示したが、これに限らず、例えば変形例として図7、8に示すように蝶番ピン26の上方及び下方のみに開放された連通空間23を設けても構わない。

【0035】

【発明の効果】以上説明したように本発明の請求項1に示す化粧料容器にあっては、広口容器本体を合成樹脂製とし、蓋体を根着するための蝶番ピンを広口容器本体に一体成形するので、広口容器本体を大量に生産することができるとともに、部品点数と作業工数とを減らして大幅にコストを削減することができる。また、蓋体を着脱自在に形成したので、蓋体を取り外した状態で化粧料を効率良く充填できるとともに、充填後即座に蓋体を閉止できるので、化粧料の品質をも確保することができる。さらに、この化粧料容器を構成する蓋体と広口容器本体とのいずれもが合成樹脂で形成されているので、分別収集することなく廃棄することができる。

【0036】また、請求項2に示す化粧料容器では、蝶番ピンの上方及び下方には何も存在しないので、上下方向の割り型のみによって蝶番ピンを有する広口容器本体を容易に成形ことができ、簡単な構造の型を用いるとともに成形の作業工数をも削減して安価に化粧料容器を成形することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の化粧料容器の一実施形態の構成部品を示す分解斜視図である。

【図2】図1の広口容器本体を示す斜視図である。

【図3】図1の化粧料容器を前後方向に破断した状態を示す断面図である。

【図4】図1の化粧料容器を左右方向に破断した状態を示す断面図である。

10

20

30

40

50

【図5】図1の化粧料容器の蓋体を係止機構を示す断面図であり（a）は係止機構を解除した状態を示す断面図、（b）は蓋体を開いた状態の係止機構の断面図である。

【図6】図1の化粧料容器の蓋体を開放した状態を示す断面図である。

【図7】本発明の化粧料容器の変形例を示し、化粧料容器を前後方向に破断した状態を示す断面図である。

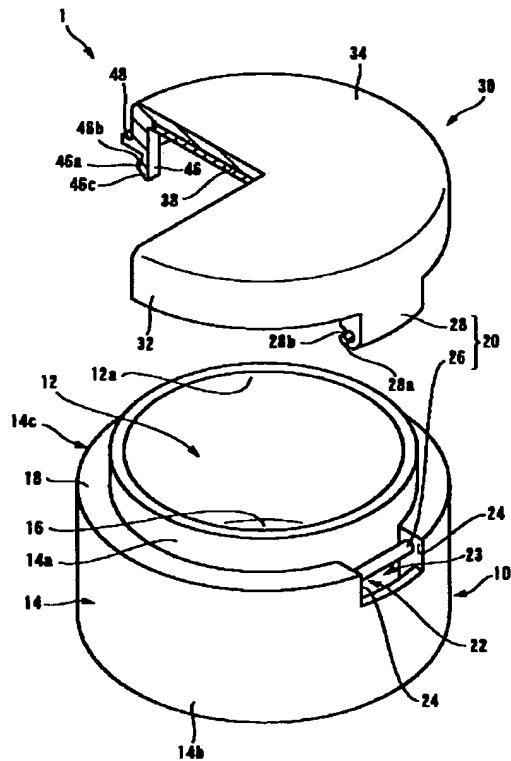
【図8】図7の化粧料容器を左右方向に破断した状態を示す断面図である。

【符号の説明】

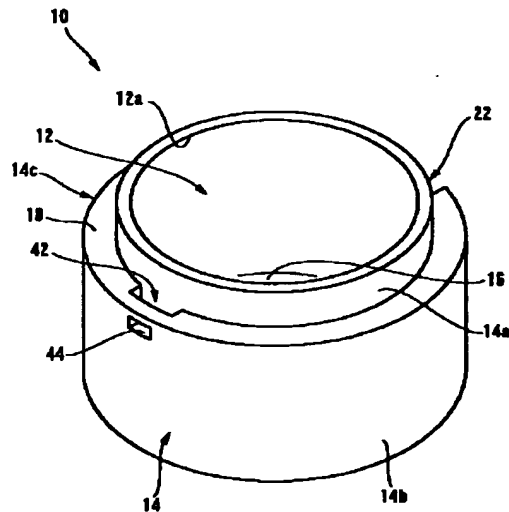
1 化粧料容器

- 10 広口容器本体
- 12 収容部
- 14 胴部
- 20 螺番
- 23 連通空間
- 26 螺番ピン
- 28 螺番片
- 30 蓋体
- 32 周壁部
- 40 係止機構
- 48 操作突起

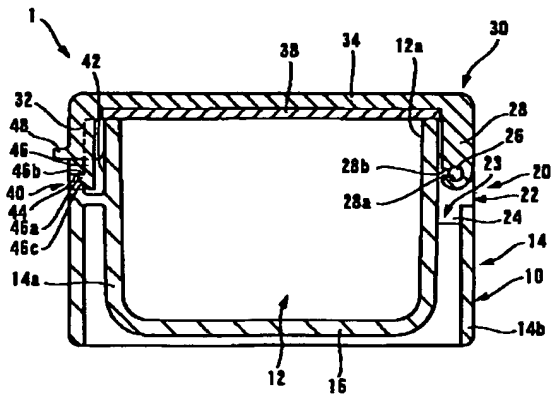
【図1】



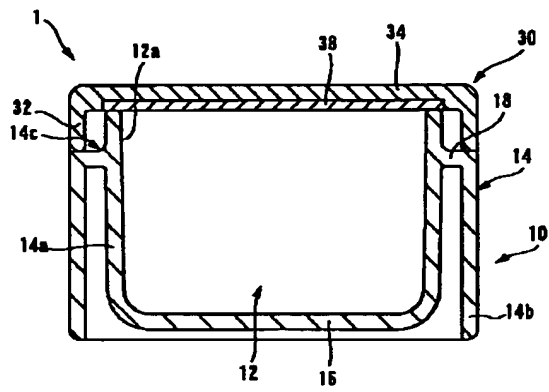
【図2】



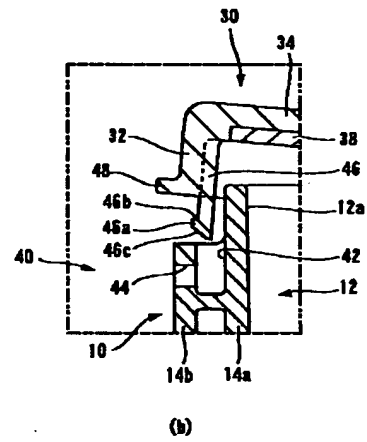
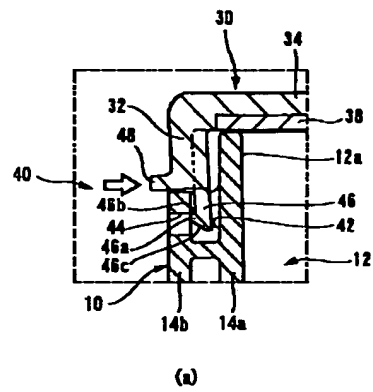
【図3】



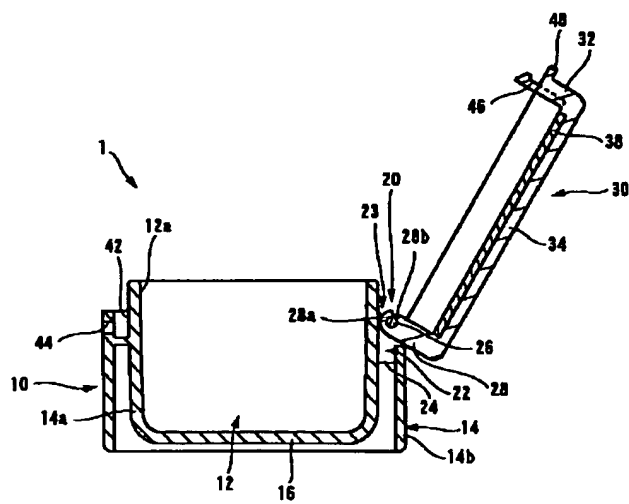
【図4】



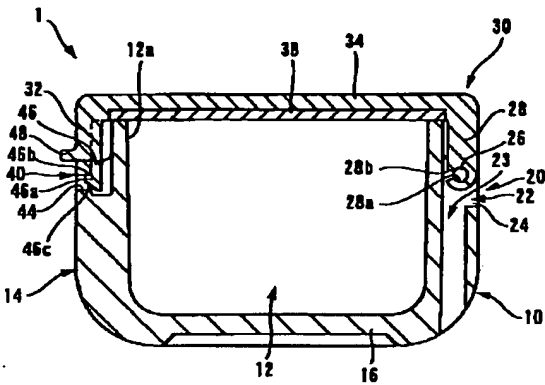
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

